

タカネコウリングク

学名 *Senecio flammeus* Turcz. ex DC.

目名

目名学名

科名 キク科

科名学名 Compositae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: IB(EN)

NO IMAGE

【選定理由】

県内では火山性高原の草原や山頂帯の風衝地に点在し、南限域となっている。個体数は僅少。高原での生育地は高原の各種開発で消滅しており、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 祖母・傾山地
分布域	九州(熊本・大分)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(北部・東北部), 蒙古, アムール, ウスリー, ダフリア
生育環境	火山性高原や山頂帯の風衝地草原。
現 状	高原の生育地では, 植林や人工牧野, ゴルフ場などの土地改変で消滅した所がある。
備 考	大陸系遺存植物。九州は, 分布の南限域にあたる。